

会 議 録

会議の名称	第 18 回 茨木市中心市街地活性化協議会
開催日時	令和 4 年 12 月 19 日(月曜日) 開始 15:30～終了 16:15
開催場所	茨木市役所 本館 5 階 第 2 会議室
出席者	<p>〔協議会構成員〕</p> <p>加藤 眞一 (FIC ベース株式会社 代表取締役) (協議会会長)</p> <p>木村 正文 (茨木商工会議所 専務理事) (協議会副会長)</p> <p>秋元 隆二 (茨木市 都市整備部 部長) (協議会副会長)</p> <p>森 道哉 (立命館大学 政策科学部 教授)</p> <p>山本 博史 (追手門学院大学 地域創造学部 教授)</p> <p>山田 久敬 (茨木市商業団体連合会 会長)</p> <p style="text-align: right;">(以上、計 6 名)</p> <p>〔茨木商工会議所中小企業振興部 次長〕 中野 拓二</p> <p>〔FIC ベース株式会社〕 山口 富士夫</p> <p>〔茨木市産業環境部商工労政課長〕 河原 勝利</p> <p>〔茨木市都市整備部 次長 兼 都市政策課課長〕 福井 龍也</p> <p>〔茨木市都市整備部 次長 兼 市街地新生課長〕 吉備 眞人</p> <p>〔茨木市都市整備部市街地新生課 課長代理 兼 市街地 A グループ長〕 辻井 啓悟</p> <p>〔茨木市都市整備部市街地新生課〕 吉川 小百合</p> <p style="text-align: right;">加藤 俊行</p>
議題	1. 中心市街地活性化基本計画 (認定計画) 変更について
配布資料	資料 1) 中心市街地活性化基本計画変更 (案) 新旧対照表 資料 2) 茨木市中心市街地活性化基本計画 概要版 資料 3) 中心市街地におけるメインストリート (中央通り、東西通り) の取組について
議 題 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
(1) 開会	
茨木市	只今から第 18 回茨木市中心市街地活性化協議会を開会する。開会に先立ち、加藤会長からご挨拶を頂戴する。
加藤会長	(あいさつ)
茨木市	本年 6 月から、FIC ベース株式会社に山口氏が社員として加わったため、一言頂戴する。
山口氏	(あいさつ)
茨木市	以降の進行を茨木市中心市街地活性化協議会規約により、会長にお願いする。
加藤会長	本日は委員総数 8 名に対し、参加者が 6 名のため、協議会は成立している。本日の議題は、茨木市中心市街地活性化基本計画の変更についてである。内閣府に変更を提出する際、委員の決議をとる必要がある。変更の内容について、茨木市より説明をしてもらう。
(2) 議題 1	茨木市中心市街地活性化基本計画の変更について
茨木市	(資料 1 説明)
加藤会長	茨木市中心市街地活性化基本計画の変更について説明があったが意見や質問はあるか。

各委員 (質疑無し)

加藤会長 茨木市中心市街地活性化基本計画の変更に関して、内閣府に提出しても問題が無いか決議を取る。

加藤会長 【決議】

賛成多数のため、本議案は成立した。後日、議事録を作成の上、送付をする。

(3) その他、閉会

茨木市 (資料3説明)

加藤会長 歩道を広げて、ウォークアブルなまちづくりをしてほしい。

茨木市 市としての目標は安全な歩行者空間とまちのにぎわいの確保であり、一方通行化はその手段の1つと考えている。

加藤会長 市民には自転車の利用ではなく歩いてほしいと思っている。

山田委員 無電柱化の件を前から話をしている。また、JRの商店街のアーケードが古くなっている。解体するにもお金が無いという状況である。

加藤会長 茨木中央銀座商店会で、アーケードを撤去していたが、どういった経緯で撤去に至ったのか。

茨木市 アーケード自体、老朽化していた。最初はアーケードを取り換えるという計画であったが、商店街内で協議し、撤去することで開放的になるので、アーケードを撤去することになったと聞いている。市として補助金を交付しているものの、自己負担もかなりある。老朽化で自然災害に伴う破損の危険性について近隣からも相談は受けていた。

商工会議所 茨木中央銀座商店会のアーケード撤去の費用は誰が出したのか。

茨木市 商店会が負担している。

木村副会長 市からの一定の補助はある。

茨木市 市からは補助金は出すが、撤去を促すようには言えない。

木村副会長 支柱が腐食していたので、危険ではあった。

山田委員 市からは撤去費の50%は補助金を出してもらったように記憶している。

加藤会長 他になければ、以上で、協議会を閉会する。次回の会議は決まり次第、連絡をする。

以上